# 第6学年 音楽科学習指導案

日 時 令和元年10月10日(木)

場 所 音楽室

児 童 第6学年 男12名 女8名 計20名

指導者 和山 真一

1 題材名「和音の音を感じ取り、和音に合う旋律をつくろう」 教材名 I、IV、V7の和音構成音 等

#### 2 題材の目標

- (1) 和音に含まれる音や与えられたリズム、反復や変化、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。【思・判・表】
- (2) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくる。【知・技】
- (3) 和音の響きや移り変わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組む。【態】

#### 3 題材設定の理由

#### (1) 題材について

本題材は、学習指導要領の「A表現(3)音楽づくりアの(イ)、イの(イ)、ウの(ア)、共通事項」について指導を行っていくものである。また、本題材で取り上げる音楽を形づくっている要素等は、「リズム、旋律、音の重なり、和音の響き、反復、変化、音楽の縦と横の関係」である。

本題材では、和音の響きの美しさを味わいながら、和音に含まれる音を使った旋律をつくり、それをさらに音楽の仕組みを用いて自分なりにまとまりのある旋律に仕上げる題材である。

旋律づくりの手順をスモールステップで進めることにより、どの児童も主体的に取り組むことができると思われる。また、児童が試行錯誤しながら旋律を仕上げる本題材は、自分だけのオリジナルの旋律をつくる楽しさも加わる。和音の響きの移り変わりに関心を持ちながら学習することによって、中学校から始まる旋律創作の学習への橋渡しともなる題材ともなっている。

# (2) 児童について

本学級の児童は、1学期に行った音楽づくり「リズムをつくってアンサンブル」で、自分で楽器を選び、リズムを考え、友達とリズムアンサンブルを作る学習を通して、「こんなアンサンブルにしたい」や「音楽の仕組みを使ってみたら、こんなアンサンブルになった」等、思いや意図をもち、それらを表現する力が付いてきた。

しかし、これまで学習してきた音楽や普段聴いている音楽が、なぜ心地よいのかを理解している児

#### 童は少ない。

そこで本教材を使い、試行錯誤しながら音楽づくりをする学習を通して、様々な和音の響きを感受 しながらその移り変わりの美しさ、心地よさを味わわせたい。

# (3) 指導にあたって

今回の「和音の音で旋律づくり」では、和音に含まれる音をつないで、まとまりのある旋律をつくる。まず、教科書に示されているハ長調の和音と低音を鍵盤楽器で演奏して、響きの移り変わりを確かめさせる。その際、自分のつくる旋律のテーマを考え、そのテーマにあった旋律を考えさせることによって、音楽づくりへの思いや意図をもたせたい。その後、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくる。

次に、教科書の例を参考にして、示されたリズムで旋律をつくる。つくった旋律のリズムを工夫して、気に入った旋律に仕上げさせる。その際、児童の思いや意図がより明確になるようなワークシートを工夫する。仕上げた旋律を  $\mathbf{I} \to \mathbf{IV} \to \mathbf{I} \to \mathbf{V}$  7  $\to$   $\mathbf{I}$  の和音伴奏と合わせて演奏し、和音の響きやその移り変わりの美しさを味わわせたい。

最後に、児童のつくった旋律を互いに聴き合う学習を通して、和音の生み出す美しさを感じ取れるようにしたい。そして、思いや意図をもって表現したり、感じ取ったことを生かしながら表現したりする学習の楽しさを味わわせたい。

#### 4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
① 和音の響きや移り変わり	① 和音やその移り変わりを聴き取り、	① 和音に含まれる音や与えら
に興味・関心をもち、和音	その働きが生み出す響きのよさを	れたリズムを基に即興的に
に含まれる音や与えられ	感じ取りながら、和音に含まれる音	旋律をつくったり、自分なり
たリズムを使って旋律を	や与えられたリズムを使って旋律	のまとまりのある旋律をつ
つくり、反復や変化、音楽	をつくり、反復や変化、音楽の縦と	くったりしている。
の縦と横の関係を生かし	横の関係を生かして、まとまりのあ	
てまとまりのある旋律に	る旋律に仕上げることについて見	
仕上げる学習に主体的に	通しをもっている。	
取り組もうとしている。		

#### 5 指導計画と評価規準 全3時間

時	ねらい ◎ 主な学習活動・	指導事項	共通事項	評価規準
1	◎和音にふくまれる音を使って旋律	A表現(3)	旋律	【関①】
	をつくりましょう。	音楽づくり	音の重なり	【技①】
	・ハ長調の和音と低音を鍵盤楽器で	イ (イ)	和音の響き	(演奏聴取、行動
	演奏して、響きの移り変わりを確		フレーズ	観察、発言内容)
	かめる。		反復	
	・自分のつくる音楽のテーマを考え、		変化	
	和音に含まれる音を使って、示さ		音楽の縦と横の関係	
	れたリズムで旋律をつくる。			
2	・つくった旋律のリズムを工夫して、	A表現(3)	リズム	【創①】
	気に入った旋律を試行錯誤する。	音楽づくり	旋律	(演奏聴取、発言
本		ア(イ)	和音の響き	内容、ワークシー
時			フレーズ	F)
3	・つくった旋律を和音伴奏と合わせ	A表現(3)	リズム	【技①】
	て演奏し、和音の響きやその移り	音楽づくり	旋律	(演奏聴取、発言
	変わりの美しさを味わう。	ウ (ア)	音の重なり	内容、ワークシー
			和音の響き	F)
			フレーズ	

### 6 本時の指導

#### (1) 目標

和音に含まれる音や与えられたリズム、反復や変化、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。【音楽表現の創意工夫】

#### (2) 研究との関わり

- ①「音楽を形づくっている要素を知覚・感受させるための手立ての工夫」
  - ①-1児童がつくった和音の音を含む旋律を聴かせることによって、音楽を特徴付けている要素の1つである和音の響きを味わわせたい。
- ②「試行錯誤させる音楽活動の展開」
  - ②-1自分の思いや意図が表現できる旋律を探したり、試行錯誤してつくった旋律に発見があったりする活動の時間を十分にとることによって、思いや意図に合ったリズムになっているかを考えさせ、様々な表現の仕方があることに気づかせる。

# (3) 本時の展開

「評価方法]	( ,	3)	本時の展開		T
専       1 前時の学習を想起する。       ・前時に和音に含まれる音を選んで旋律づくりをしたことを想起させる。         2 本時の課題をつかむ。       (りをしたことを想起させる。         分       気に入った旋律になるようにリズムを工夫しよう。         展       3 範奏を聴いて、見通しを持つ。       ・板書で視覚的にイメージできるようにする。         ・ 単調なリズムを例として示し、思いや意図が伝わるか考えさせる。       ・P. 2 7 の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。         ・ 子変を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。       ・ 地互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなベアをつくる。         ・ リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。       ・ と横の関係をカレてもよいことを確認する。         ・ 2分音符を残してもよいことを確認する。       ・ 4 小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。         ・ マク・シートにリズムを書き込み、鍵盤、ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。       ・ 学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。         ・ ※数を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。       ・ ②思いや意図・落ち着いた曲にしたい。・うきうきする曲にしたい。・うきうきする曲にしたい。・うきうきする曲にしたい。・りきうきする曲にしたい。・りまれる別の音に変えてもよいこと	段階		学 習 活 動	指導上の留意点	具体の評価規準
人       2       本時の課題をつかむ。         分       気に入った旋律になるようにリメムを工夫しよう。         機関       3       範奏を聴いて、見通しを持つ。       ・板書で視覚的にイメージできるようにする。         ・単調なリズムを例として示し、思いや意図が伝わるか考えきせる。       ・P・2 7の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。       ・音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。         ・お互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなペアをつくる。       ・カスを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。       と横の関係をかしてもよいことを確認する。         ・2分音符を残してもよいことを確認する。       ・2分音符を残してもよいことを確認する。       上げる。         ・フークシートにリズムを書き込み、鍵盤、ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。       ・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。       取、発言内容ワークシート         ・の思いや意図・落ち着いた曲にしたい。       ・うきうきする曲にしたい。         ・非常を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと       ・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもはいこと					【評価方法】
2 2 本時の課題をつかむ。	導	1	前時の学習を想起する。	・前時に和音に含まれる音を選んで旋律づ	
分       気に入った旋律になるようにリズムを工夫しよう。         展       3       範奏を聴いて、見通しを持つ。       ・板書で視覚的にイメージできるようにする。         ・単調なリズムを例として示し、思いや意図が伝わるか考えさせる。       ・P. 2 7の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。       ・音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。         4       前時につくった旋律のリズムを変え、気に入った旋律をつくる。       ・お互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなペアをつくる。       ・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。       ・2分音符を残してもよいことを確認する。         ・2分音符を残してもよいことを確認する。       ・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。       ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。       ・アークシート         ・学級を2グループに分け、音楽室と埋料室で練習させる。       ・学級を2グループに分け、音楽室と埋料室で練習させる。         ・連れ参しの       ・本部 かた曲にしたい。         ・うきうきする曲にしたい。       ・うきうきする曲にしたい。         ・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと	入			くりをしたことを想起させる。	
分       気に入った旋律になるようにリズムを工夫しよう。         展       3       範奏を聴いて、見通しを持つ。       ・板書で視覚的にイメージできるようにする。         ・単調なリズムを例として示し、思いや意図が伝わるか考えさせる。       ・P. 2 7の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。       ・音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。         4       前時につくった旋律のリズムを変え、気に入った旋律をつくる。       ・お互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなペアをつくる。       ・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。       ・2分音符を残してもよいことを確認する。         ・2分音符を残してもよいことを確認する。       ・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。       ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。       ・アークシート         ・学級を2グループに分け、音楽室と埋料室で練習させる。       ・学級を2グループに分け、音楽室と埋料室で練習させる。         ・連れ参しの       ・本部 かた曲にしたい。         ・うきうきする曲にしたい。       ・うきうきする曲にしたい。         ・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
展 3 範奏を聴いて、見通しを持つ。 ・ 板書で視覚的にイメージできるようにする。 ・ 単調なリズムを例として示し、思いや意図が伝わるか考えさせる。 ・ P. 2 7 の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。 ・ 音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。 ・ お互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなペアをつくる。 ・ リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。 ・ 2 分音符を残してもよいことを確認する。 ・ 2 分音符を残してもよいことを確認する。 ・ 4 小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。 ・ ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。 ・ 学級を 2 グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ② 思いや意図・落ち着いた曲にしたい。 ・ うきうきする曲にしたい。 ・ 早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと	2	2	本時の課題をつかむ。		
展 3 範奏を聴いて、見通しを持つ。 ・ 板書で視覚的にイメージできるようにする。 ・ 単調なリズムを例として示し、思いや意図が伝わるか考えさせる。 ・ P. 2 7 の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。 ・ 音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。 ・ お互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなペアをつくる。 ・ リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。 ・ 2 分音符を残してもよいことを確認する。 ・ 2 分音符を残してもよいことを確認する。 ・ 4 小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。 ・ ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。 ・ 学級を 2 グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ② 思いや意図・落ち着いた曲にしたい。 ・ うきうきする曲にしたい。 ・ 早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと	分		<b>生にすった特殊にわて</b> よるに II	   ブルナ、エナルト 5	
<ul> <li></li></ul>				スムを工夫しょう。	
・単調なリズムを例として示し、思いや意図が伝わるか考えさせる。 ・P・27の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。 ・音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。 ・お互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなべアをつくる。・リズムを考える際「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。・2分音符を残してもよいことを確認する。・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ②思いや意図・落ち着いた曲にしたい。・うきうきする曲にしたい。・うきうきする曲にしたい。・・ラミうきする曲にしたい。・・ラミうきする曲にしたい。・・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと	展	3	範奏を聴いて、見通しを持つ。	・板書で視覚的にイメージできるようにす	
図が伝わるか考えさせる。	開			。   る。	
図が伝わるか考えさせる。				  ・単調なリズムを例として示し、思いや意	
・P. 27の図を掲示し、書き込む際の手助けとする。         ・音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。         ・お互いに学び合ったり、アドバイスし合えたりするようなペアをつくる。         ・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。         ・2分音符を残してもよいことを確認する。         ・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。         ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。         ・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。         ・選いや意図・落ち着いた曲にしたい。         ・すきうきする曲にしたい。         ・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
サリアムの反 を変え、気に入った旋律のリズム を変え、気に入った旋律をつく る。  ・ お互いに学び合ったり、アドバイスし合 えたりするようなペアをつくる。 ・ リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」 という視点をあたえ、ワークシートに記 入させる。 ・ 2分音符を残してもよいことを確認する。 ・ 4 小節目は全音符でも、他のリズムに変 えてもよいことを確認する。 ・ ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤 ハーモニカで試し、気に入った旋律をつ くる。 ・ 学級を2グループに分け、音楽室と理科 室で練習させる。  ②思いや意図 ・ 落ち着いた曲にしたい。 ・ うきうきする曲にしたい。 ・ 早く終わった児童には、選んだ音を和音 の中に含まれる別の音に変えてもよいこと				-	
<ul> <li>・音楽を苦手としている児童には、反復や変化等を用いるとよいことを確認する。</li> <li>4 前時につくった旋律のリズムを変え、気に入った旋律をつくる。</li> <li>・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。</li> <li>・2分音符を残してもよいことを確認する。</li> <li>・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。</li> <li>・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。</li> <li>・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。</li> <li>・②思いや意図・落ち着いた曲にしたい。</li> <li>・うきうきする曲にしたい。</li> <li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li> </ul>					
変化等を用いるとよいことを確認する。  ・ お互いに学び合ったり、アドバイスし合 を変え、気に入った旋律をつく る。 ・ リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」 という視点をあたえ、ワークシートに記 入させる。 ・ 2分音符を残してもよいことを確認する。 ・ 4小節目は全音符でも、他のリズムに変 えてもよいことを確認する。 ・ ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤 ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。 ・ 学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ・ ②思いや意図 ・ 落ち着いた曲にしたい。 ・ うきうきする曲にしたい。 ・ りきるかった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
4 前時につくった旋律のリズムを変え、気に入った旋律をつくえたりするようなペアをつくる。 ・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」と横の関係をかしてもよいことを確認する。 ・2分音符を残してもよいことを確認する。 ・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。 ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤の関係をかしてもよいことを確認する。 ・リグシートにリズムを書き込み、鍵盤の関係をかしてもよいことを確認する。 ・リグシートにリズムを書き込み、鍵盤の、発言内容のでは、気に入った旋律をつくる。・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ②思いや意図・落ち着いた曲にしたい。 ・うきうきする曲にしたい。 ・月く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
を変え、気に入った旋律をつくる。 ・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」とはの関係をかして、まとま入させる。 ・2分音符を残してもよいことを確認する。・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ③思いや意図・落ち着いた曲にしたい。・うきうきする曲にしたい。・「早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
を変え、気に入った旋律をつくる。 ・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」とはの関係をかして、まとま入させる。 ・2分音符を残してもよいことを確認する。・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ③思いや意図・落ち着いた曲にしたい。・うきうきする曲にしたい。・「早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと		1	前時につくった旋律の川ずん	・ ・ お互いに学び合ったり アドバイスト <del>今</del>	・ルズムの豆須
<ul> <li>・リズムを考える際、「こんな演奏にしたい」と横の関係をかして、まとまみさせる。</li> <li>・2分音符を残してもよいことを確認する。</li> <li>・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。</li> <li>・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。</li> <li>・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。</li> <li>◎思いや意図・落ち着いた曲にしたい。</li> <li>・うきうきする曲にしたい。</li> <li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li> </ul>					
という視点をあたえ、ワークシートに記入させる。 ・2分音符を残してもよいことを確認する。 ・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。 ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。 ・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ②思いや意図 ・落ち着いた曲にしたい。 ・うきうきする曲にしたい。 ・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
<ul> <li>入させる。</li> <li>・2分音符を残してもよいことを確認する。</li> <li>・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。</li> <li>・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。</li> <li>・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。</li> <li>⑤思いや意図・落ち着いた曲にしたい。</li> <li>・うきうきする曲にしたい。</li> <li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li> </ul>		1	<b>℃</b>		
・2分音符を残してもよいことを確認する。 ・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。 ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。 ・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ◎思いや意図 ・落ち着いた曲にしたい。 ・うきうきする曲にしたい。 ・見く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
・4小節目は全音符でも、他のリズムに変えてもよいことを確認する。 ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤 フークシート (リズムを書き込み、鍵盤 フークシート) (する。) ・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。  ②思いや意図 ・落ち着いた曲にしたい。 ・うきうきする曲にしたい。 ・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
えてもよいことを確認する。 ・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤 ハーモニカで試し、気に入った旋律をつ くる。 ・学級を2グループに分け、音楽室と理科 室で練習させる。  ◎思いや意図 ・落ち着いた曲にしたい。 ・うきうきする曲にしたい。 ・早く終わった児童には、選んだ音を和音 の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					-
<ul> <li>・ワークシートにリズムを書き込み、鍵盤 ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。</li> <li>・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。</li> <li>②思いや意図</li> <li>・落ち着いた曲にしたい。</li> <li>・うきうきする曲にしたい。</li> <li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li> </ul>					
<ul> <li>ハーモニカで試し、気に入った旋律をつくる。</li> <li>・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。</li> <li>◎思いや意図・落ち着いた曲にしたい。</li> <li>・うきうきする曲にしたい。</li> <li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li> </ul>					
くる。     ・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。     ◎思いや意図     ・落ち着いた曲にしたい。     ・うきうきする曲にしたい。     ・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					ワークシート】
<ul> <li>・学級を2グループに分け、音楽室と理科室で練習させる。</li> <li>○思いや意図</li> <li>・落ち着いた曲にしたい。</li> <li>・うきうきする曲にしたい。</li> <li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li> </ul>				ハーモニカで試し、気に入った旋律をつ 	
室で練習させる。  ◎思いや意図 ・落ち着いた曲にしたい。 ・うきうきする曲にしたい。 ・早く終わった児童には、選んだ音を和音 の中に含まれる別の音に変えてもよいこと				くる。	
<ul><li>◎思いや意図</li><li>・落ち着いた曲にしたい。</li><li>・うきうきする曲にしたい。</li><li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li></ul>				・学級を2グループに分け、音楽室と理科	
<ul><li>・落ち着いた曲にしたい。</li><li>・うきうきする曲にしたい。</li><li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li></ul>				室で練習させる。	
<ul><li>・うきうきする曲にしたい。</li><li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li></ul>				◎思いや意図	
<ul><li>・早く終わった児童には、選んだ音を和音の中に含まれる別の音に変えてもよいこと</li></ul>				- 落ち着いた曲にしたい。	
の中に含まれる別の音に変えてもよいこと				・うきうきする曲にしたい。	
の中に含まれる別の音に変えてもよいこと					
				・早く終わった児童には、選んだ音を和音	
を伝える。				の中に含まれる別の音に変えてもよいこと	
				を伝える。	

	5 つくった旋律を演奏し、感想	・数名に発表してもらい、さらによりよい	
	を交流し合う。	ものにするための手がかりとする。	
		・発表する際、どのような旋律をつくった	
		のかを伝えさせる。	
		◎思いや意図の共有	
		   ・1 小節目と 3 小節目のリズムを反復	
		させていて落ち着いた感じを表した。	
3		<ul><li>・音の高さを高くし、リズムも細かく</li></ul>	
6		てうきうきした感じがした。	
分			
終	6 本時を振り返る。		
末	・振り返りをし、感想を交流する。	・気に入った旋律ができた児童を紹介し、	
		気に入った理由を発表させる。	
		・本時の感想を発表させる。	
7	7 次時の学習内容を知る。	・次時は、全員が発表し合うことを知らせ	
分		ر ام	

# 7 板書計画

気に入った旋律になるようにリズム を工夫しよう。

リズムのみの図

【2分音符と同じ長さのリズムの図】

【使えそうなもの】

・反復 ・変化 ・音楽の縦と横の関係

発表用の紙板書